

熊本県は、

マダニによる感染症が多発。

注意が必要です!

身近に潜む 危険生物 「マダニ」

家族で話し合い 注意しましょう。



マダニ

大きさは
2～4mm

マダニは、野山に生息し、動物や
ヒトに付着して吸血します。

日本紅斑熱について

- 主な症状
- ①発熱 38℃以上
 - ②紅斑(赤い斑点) かゆみがないのが特徴です
 - ③刺し口 “かさぶた”に覆われていることもあります



吸血中のマダニ



刺し口



紅斑

早期診断・治療が重要です!

発行 熊本県天草保健所
監修 熊本県保健環境科学研究所

2018年3月発行

いずれの疾患も、症状には個人差があり、マダニに刺されたことに気がついていないか、刺し口が見つけられなかったりする場合も多くあります。見た目だけの診断が困難です。治療が遅れれば重症化し死亡する場合がありますので、早めに医療機関に相談しましょう。

受診時には、○月○日、野山に行った
○月○日、草むらで作業した
あの日、マダニに刺されたかもしれない
など日付け、場所、発症前の行動(2週間程度)を伝えましょう。

病院のかかり方について

野山に行く時は長そで、長ズボンなどできるだけ肌を露出しない。
● 草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用する。
● 脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かない。
● 虫よけ剤を活用する。
● 帰宅後、すぐに入浴し、着替える。
などを心がけることが重要です。

予防するためのクワチン等はありません。マダニに刺されないようにするのが予防法です。マダニは木の葉や草むらの土の表面に生息していますのでできるだけ草むらに入らない。

予防するには?

マダニに刺されてから2～8日後に、頭痛、発熱(38℃以上)、倦怠感などが現れます。また、腕や脚を中心に、かゆみのない紅色の皮疹がみられます。注意深く探すと、“かさぶた”に覆われたマダニの刺し口が見つかることもあります。有効な治療薬がありますが、治療開始が遅れると、重症化し、死亡する場合があります。

●日本紅斑熱



●重症熱性血小板減少症候群(SFTS)
主な症状は、
マダニに刺されてから、6～14日後に、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛などインフルエンザに似た症状が現れます。嘔吐、下痢、腹痛なども多くみられ、重症化すると、出血しやすくなり、現在のところ予防ワクチンや有効な治療薬はなく、症状に対する治療が中心となります。重症化し、死亡する場合があります。

マダニによる感染症は、リケッチアやウイルス等の病原体を保有するマダニに刺されることにより起こります。
2011年に初めて報告された、新しいウイルス(SFTS ウイルス)を保有するマダニに刺されることにより引き起こされる「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」やリケッチアを保有するマダニに刺されることで感染する「日本紅斑熱」などが主な病気です。
すべてのマダニが病原体を持っているわけはありませんが、マダニに刺されないための注意が必要です。

感染したかも? どんな病気? どんな症状?



春から秋にかけて山菜採り、キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、野山で活動する機会が多くなる季節です。野山に生息するマダニに刺されることで感染症を引き起こすことがあります。病気を正しく知って、感染症から身を守るために、適切な予防と行動をすることが大切です。

野山での野外活動の際は、マダニに注意しましょう!!

熊本県は、マダニによる感染症が多発。注意が必要です！

身近に潜む危険生物「マダニ」

家族で話し合い注意しましょう。

1 マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2 マダニから身を守る服

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。



半ズボンやサンダル履きは不適當です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

シャツの袖口は、軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

農業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

3 マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたマダニを取り除く方法も効果的です。

マダニの多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに刺されたら数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4 虫よけ剤の効果

マダニに対する虫よけ剤が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。

虫よけ剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。虫よけ剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

